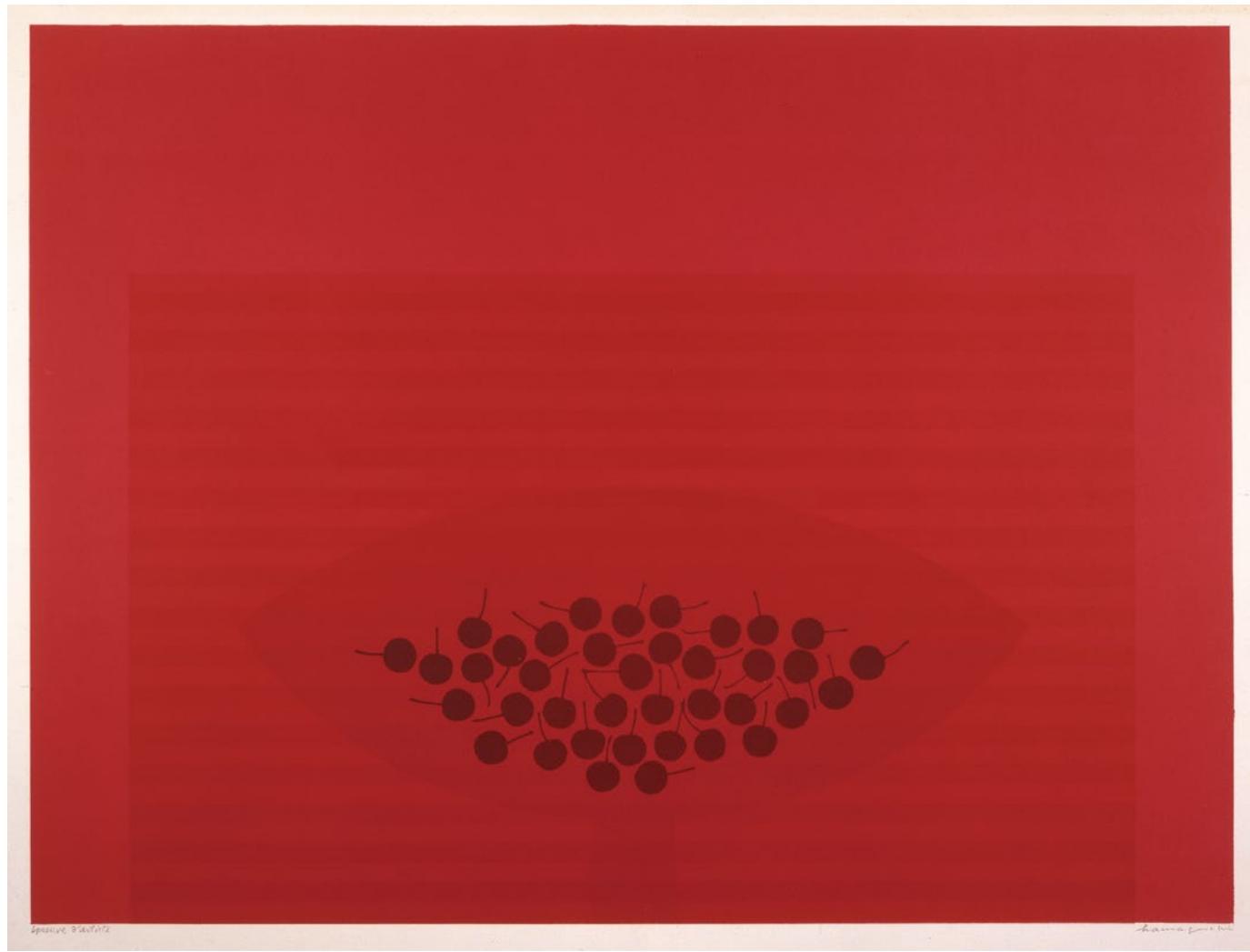


浜口陽三展

HAMAGUCHI Yozo
Exhibition
COLOR TRIP

カラー・トリップ



「赤い鉢」 1971年 カラーリトグラフ 45.7×61.2cm

2017.8.26 sat.-10.22 sun.



ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

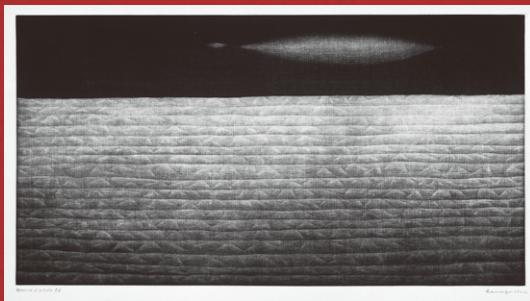
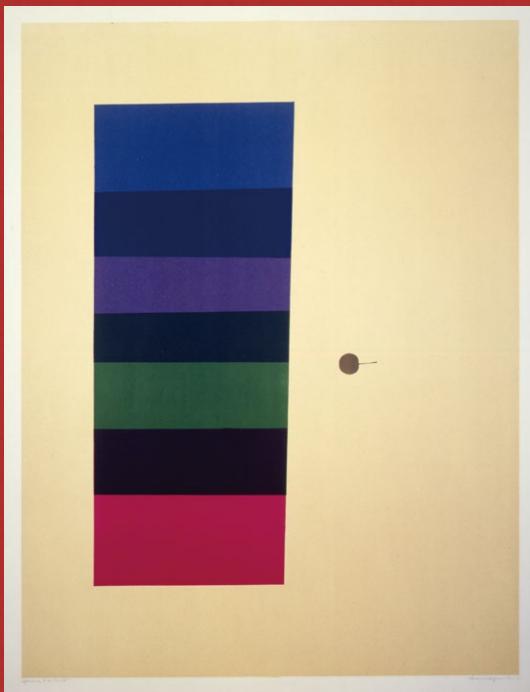
休館日 ■ 月曜日(9/18、10/9は開館)、9/19(火)、10/10(火)

入館料 ■ 大人600円 大学・高校生400円 中学生以下無料

開館時間 ■ 11:00~17:00(土日祝10:00~/最終入館16:30)

◎ナイトミュージアム…会期中第1・3金曜日(9/1、9/15、10/6、10/20)は20:00まで開館、最終入館19:30

Musée
Hamaguchi
Yozo:
Yamasa
Collection



上から順に
「テーブル掛けとさくらんぼ」 1971年 カラーリトグラフ 60.5×46.0cm
「雲」 1958年 メゾチント 26.3×49.2cm
「ブラジルの太陽」 1971年 カラーリトグラフ 27.5×45.5cm
「虹とエッフェル塔」(試作) 1972年 シルクスクリーン 50.3×50.3cm (個人蔵)

銅版画家・浜口陽三(1909–2000)は、西洋の印刷技術であったメゾチントを芸術表現に取り入れ、さらにモノクロであった技法に色彩を呼び起こしました。あざやかな赤いさくらんぼの奥の暗闇によく目を凝らすと、幾重にも色が重なりあってることに気づかされます。その暗色は、黄、赤、青、黒の四色の版の重なりでできあがっているのです。ビロードのようにも見える暗色のやわらかさや静謐な画面は、国際的に高く評価されました。

しかし浜口は、銅版画の技法だけにこだわらず、リトグラフでの制作も試みています。銅版画では表現できないフラットな色彩をリズミカルに配したその作品は、銅版画での作品と同じモチーフを描写していくながら、異なった様相を見せます。浜口の好んでいたモチーフであるさくらんぼは、リトグラフの多彩な作品の中で、弾みながら歩んでゆくようです。

また、もうひとつの色の冒險として、浜口はシルクスクリーンにも挑戦しています。ポスターの原画として制作された、ただ1点のみの幻の試作品を、本展ではポスターと併せて紹介します。

この秋の展覧会は浜口のリトグラフ作品に焦点をあて、さらに主な制作である銅版画約40点を加えた多彩な構成です。さくらんぼを追いかけ、色の旅をどうぞお楽しみください。

Event 銅版画・モノクロームメゾチント体験教室

1回の実習で製版から刷りまで行い、ポストカード大の作品を完成させます。
初めての方でも無理なく参加いただける、初心者向けの教室です。

講 師－江本 創(アーティスト)

日 時－10月27日(金) ①10:30-13:30 ②15:00-18:00
10月29日(日) ③10:30-13:30 ④15:00-18:00

定 員－各回12名

持ち物－下絵(サイズ12×7.5cm)、汚れてもよい服装またはエプロン
参加費－入館料+1800円(材料費込)

申 込－9月20日(水)12:00より電話にて受付開始(先着順)

*展覧会終了後の開催となります。作品はご覧いただけます。(展示作品は未定)
*お申込後、開催直前でのキャンセルはご遠慮ください。

ミュゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-35-7
Tel | 03-3665-0251 Fax | 03-3665-0257
Mail | musee@yamasa.com HP | <https://www.yamasa.com/musee/>
アクセス | 東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば
東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分
首都高速箱崎I.C[浜町出口]または[清洲橋出口]T-CAT駐車場前



当館は
ぐるっとバスに
参加しています。

ミュゼ浜口陽三・
ヤマサコレクション